

宮城県上工下水一体官民連携運営事業
(みやぎ型管理運営方式)

令和6年度 上半期の事業運営について



みずむすび

令和7年1月31日

株式会社みずむすびマネジメントみやぎ

1. 維持管理業務（報告）

- ① 運転管理・水質管理
- ② 主なトラブルと対応

2. 改築業務（報告）

- ① 完工工事
- ② 発注（設計・工事）
- ③ 統合型広域監視導入
スケジュール
- ④ 新規取り組み

3. 経営管理業務（報告）

- ① 財務報告（上半期）
- ② 研修・教育
- ③ 広報活動
- ④ 苦情等への対応

4. 課題認識と下半期見通し

経営環境

- 原水水質は昨年度同様に高水温の影響あり
- 動力費の高止まりが継続
- 電子部品の長納期化が改善

上半期 結果

- MMMの経営成績は概ね計画通りに推移
- MSMは動力費等の物価高の影響大
- トラブルは散発したものの維持管理業務は安定
- 改築工事も概ね計画通り完工

1. 維持管理業務（報告）

計画との差異)

概ね計画通りに業務遂行し、

水質の要求水準違反につながる事故は発生しなかった

1. 維持管理業務（報告）

① 運転管理・水質管理（上水）



上水

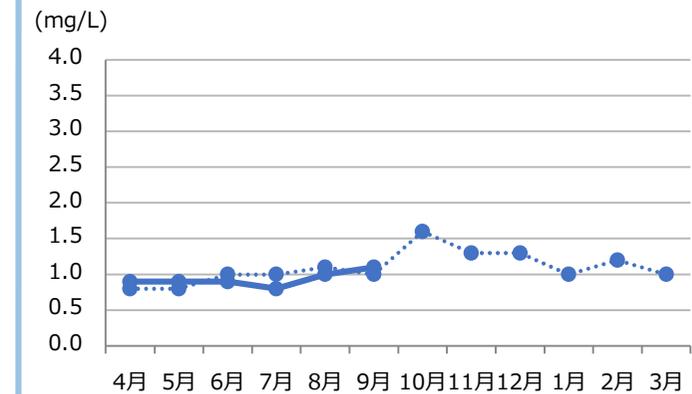
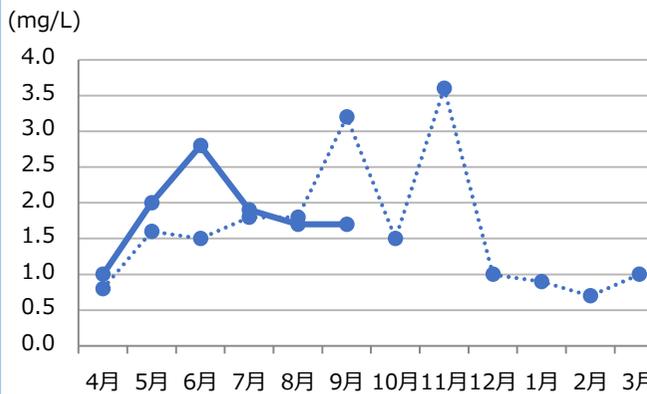
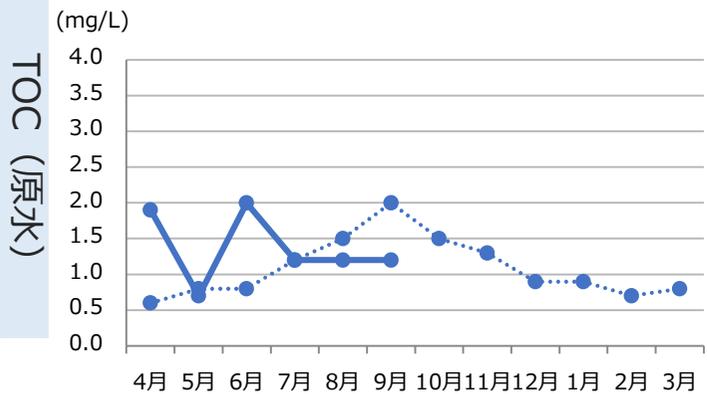
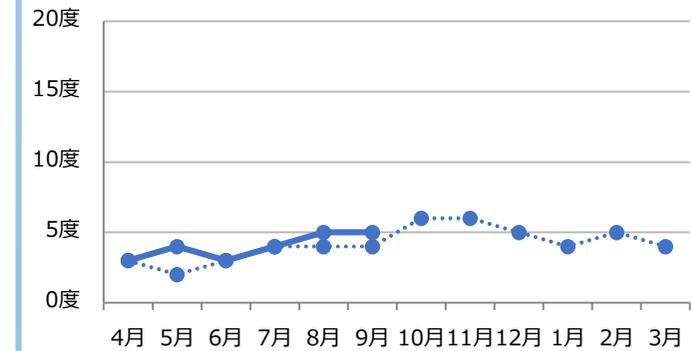
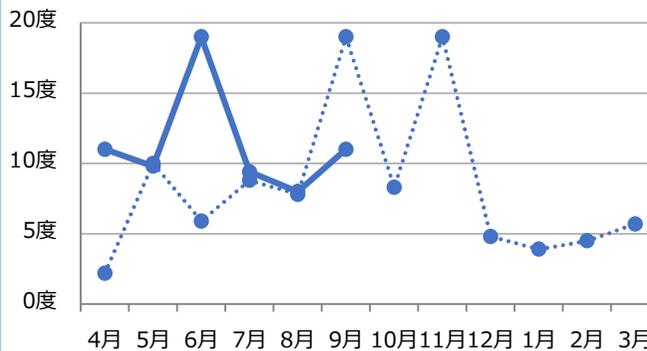
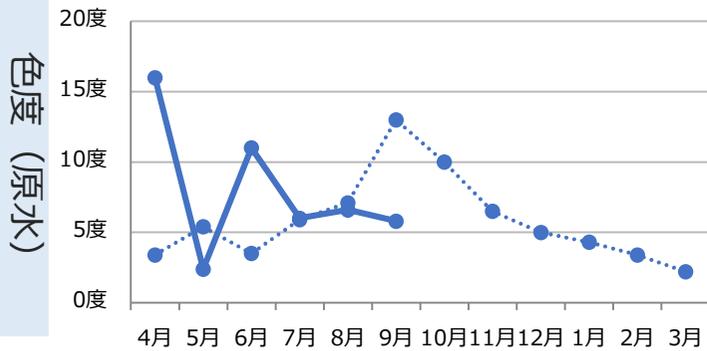
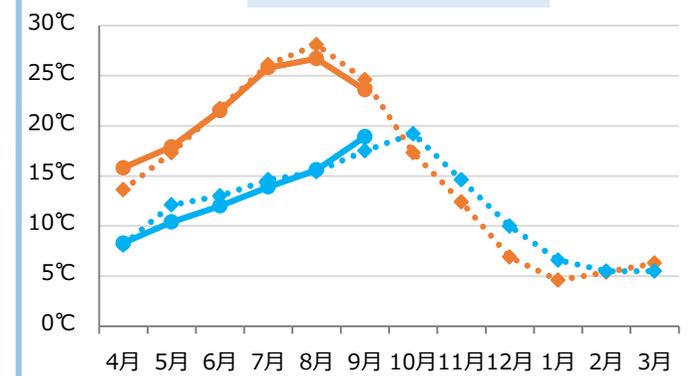
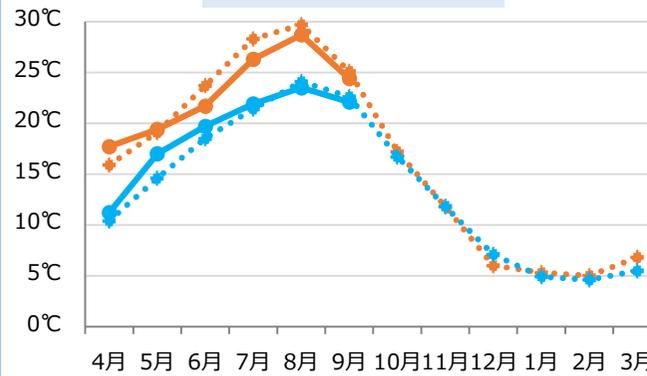
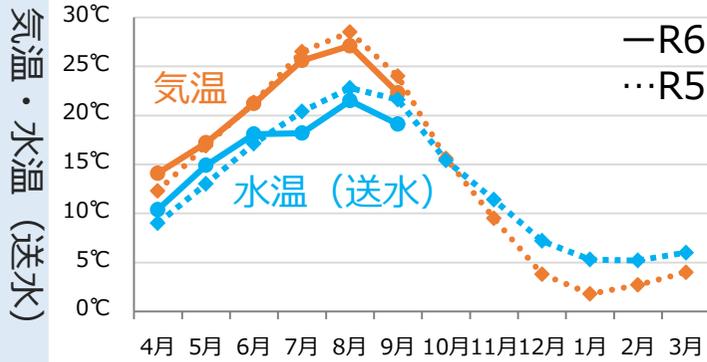
水温・原水水質

高水温等による水質影響が継続

麓山浄水場

中峰浄水場

南部山浄水場



1. 維持管理業務（報告）

① 運転管理・水質管理（上水）



上水

送水量・濁度・残留塩素 降雨影響等に関わらず安定管理

送水量

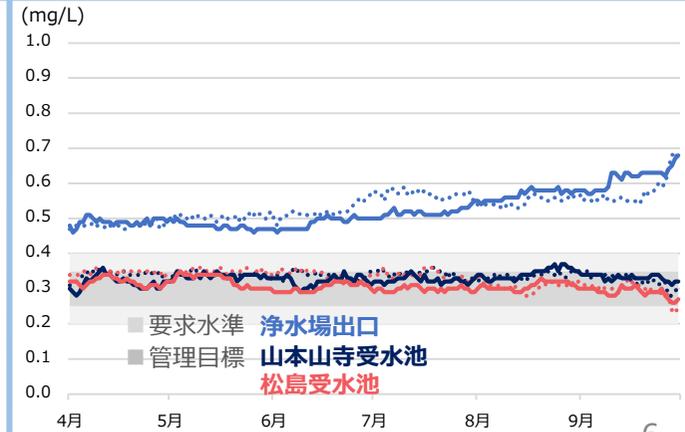
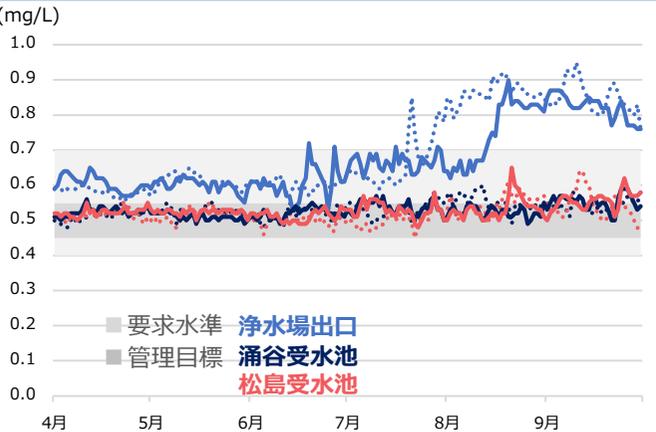
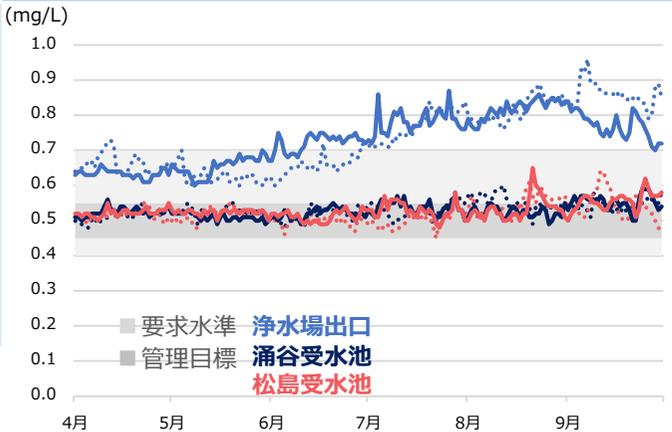
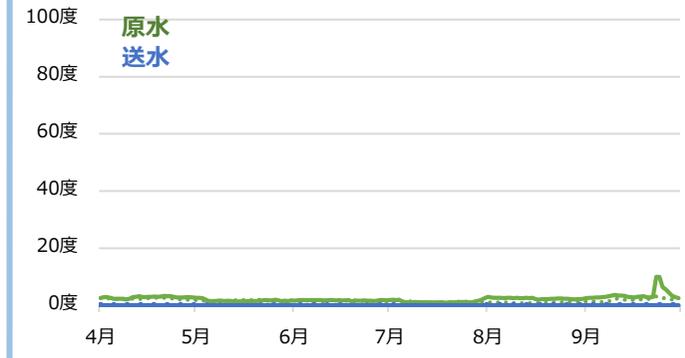
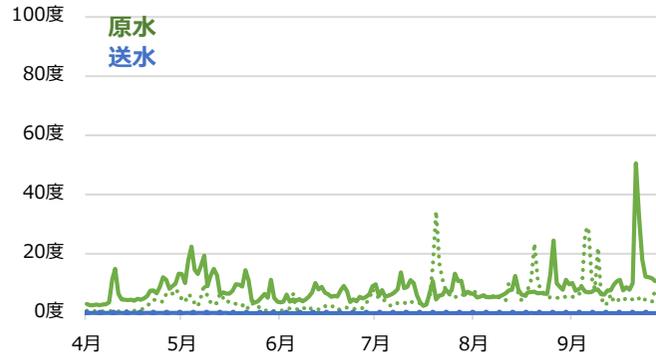
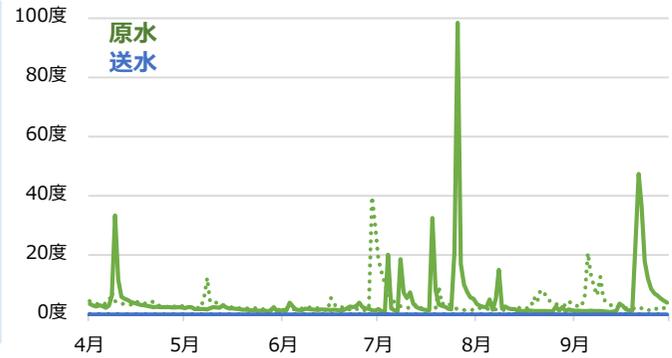
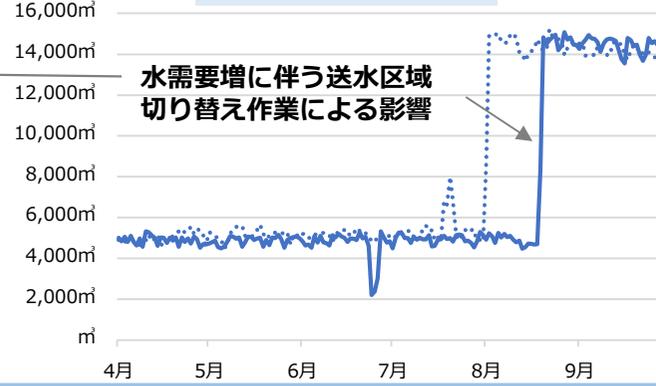
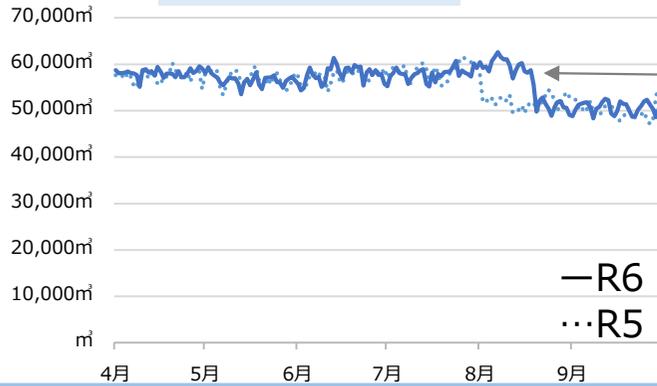
濁度

残留塩素

麓山浄水場

中峰浄水場

南部山浄水場



1. 維持管理業務（報告） ① 運転管理・水質管理（下水）

下水

上半期の流入水質

流入

浄化センター

基準値超過項目は無し

は基準値の90%に達した値

	項目	基準	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
			平均	最大										
仙塩JIC	BOD(mg/L)	250	160	190	170	210	170	210	160	190	170	230	140	180
	COD(mg/L)	150	110	130	110	120	120	150	110	120	110	130	100	120
	SS(mg/L)	290	150	190	160	170	170	240	150	160	160	220	150	180
	T-N(mg/L)	52	42	43.8	41.3	43	44.9	46.2	40	40.8	42.1	43	39.6	41.9
	T-P(mg/L)	7.9	5.3	5.8	4.8	5	5.3	5.8	4.7	4.8	4.7	4.9	4.9	5.7
県南JIC	BOD(mg/L)	240	140	150	160	210	130	160	140	160	130	150	140	200
	COD(mg/L)	150	88.1	99.1	99.1	110	79.3	93	76.3	90	76.8	95	86.3	100
	SS(mg/L)	260	130	140	150	170	120	150	120	150	120	160	140	180
	T-N(mg/L)	48	30.3	30.8	37.3	37.8	35.6	35.7	31.2	32.6	35.1	38.8	32.9	35.2
	T-P(mg/L)	16	3.2	3.2	3.8	3.8	3.7	3.7	3.3	3.4	3.1	4.2	3.7	4.4
鹿島台JIC	BOD(mg/L)	350	200	250	200	220	190	200	210	330	200	210	200	240
	COD(mg/L)	180	120	140	130	150	120	130	120	160	120	130	120	140
	SS(mg/L)	340	140	170	180	240	160	190	120	150	160	200	180	220
	T-N(mg/L)	51	32.8	35	33.1	36.9	35.9	40	38.4	42.5	39.6	43.9	37.9	43.2
	T-P(mg/L)	5.7	3.9	4	4.2	4.3	4.1	4.2	4.5	4.9	4.1	4.3	4.4	5.4
大和JIC	BOD(mg/L)	280	210	210	220	270	200	250	190	220	190	260	190	230
	COD(mg/L)	180	120	120	130	130	120	130	120	130	110	120	130	140
	SS(mg/L)	290	180	200	210	240	190	250	200	220	180	220	210	240
	T-N(mg/L)	53	42	42.5	46.1	51.4	42.5	43.2	46.5	46.6	35.5	42.4	43.8	47.6
	T-P(mg/L)	6.7	4.6	4.7	5.4	5.6	5.3	5.8	5.2	5.3	3.9	4.2	4.3	4.8

1. 維持管理業務（報告） ① 運転管理・水質管理（下水）

下水

上半期の放流水質

浄化センター

放流

基準値超過項目は無し

は基準値の90%に達した値

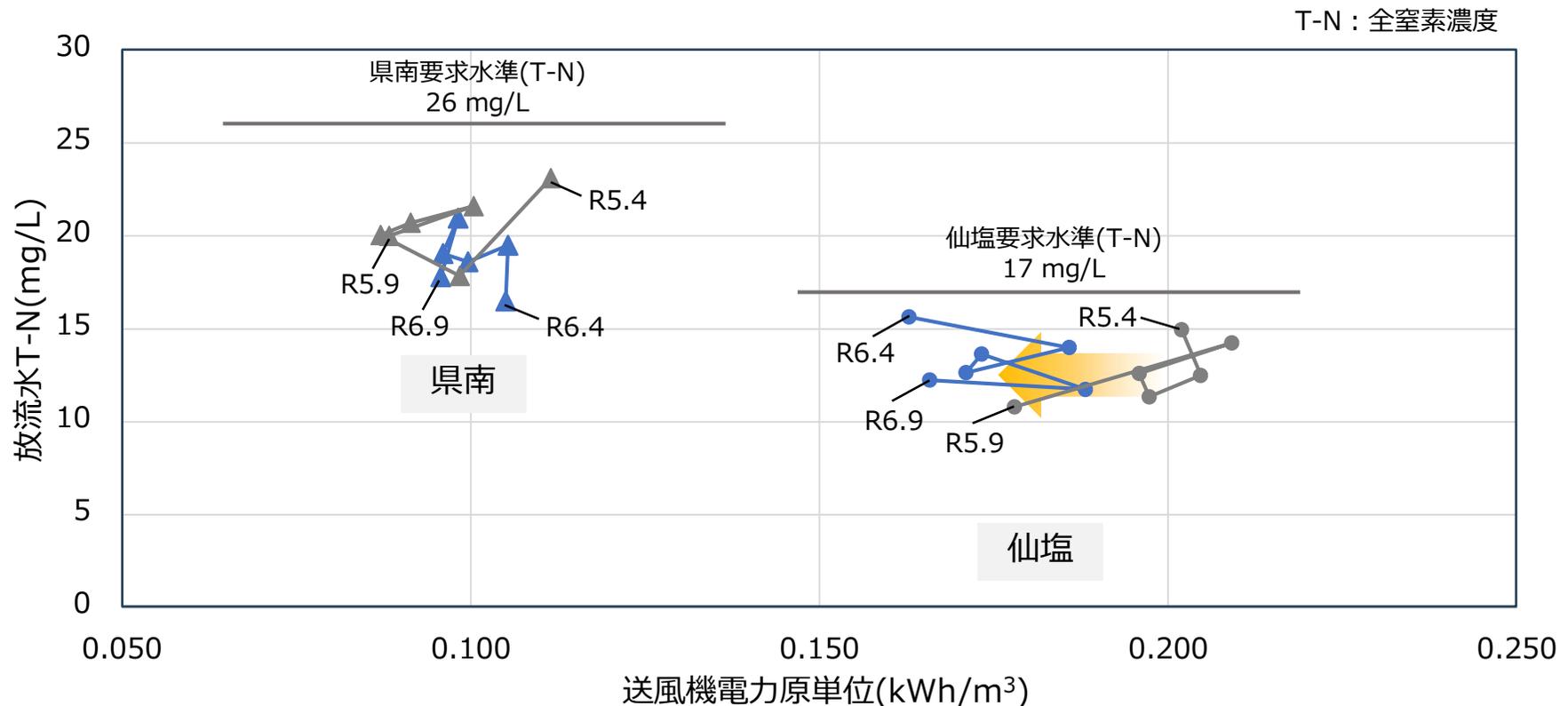
	項目	県基準	平均					法定基準	最大						
			4月	5月	6月	7月	8月		9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
仙塩JC	BOD(mg/L)	3以下	2.3	2.3	1.9	2.2	2.2	2.1	10以下	2.7	2.9	2.2	2.8	2.5	2.7
	COD(mg/L)	12以下	11.4	11.6	11.7	11.2	11.6	11.4	-	12.1	12.8	14.7	12.3	11.9	12.1
	SS(mg/L)	3以下	2.9	2.7	2.5	2.6	2.3	2.0	40以下	5.2	6.4	6.0	3.2	2.8	2.8
	T-N(mg/L)	17以下	15.7	14.0	12.7	13.7	11.8	12.3	120以下	15.7	17.6	14.1	14.5	11.8	12.6
	T-P(mg/L)	3以下	1.4	2.0	0.8	1.4	1.0	1.8	16以下	1.7	3.4	1.1	1.4	1.5	2.0
県南JC	BOD(mg/L)	5以下	1.6	1.6	3.3	2.8	1.2	1.8	15以下	2.0	2.6	4.0	4.7	2.0	2.1
	COD(mg/L)	15以下	11.6	10.8	9.3	9.3	9.6	9.9	160以下	12.7	11.9	9.8	10.7	11.4	10.8
	SS(mg/L)	4以下	2.9	2.5	2.2	1.9	1.9	2.3	40以下	4.0	3.6	3.4	2.6	5.5	2.9
	T-N(mg/L)	26以下	16.5	19.5	18.6	19.1	21.0	17.8	-	19.6	20.8	19.5	19.1	21.3	20.2
	T-P(mg/L)	2以下	0.9	1.9	1.0	1.3	1.5	1.2	-	1.1	2.0	1.1	1.8	1.7	1.4
鹿島台JC	BOD(mg/L)	3以下	1.7	2.4	1.6	1.6	1.6	1.3	15以下	2.4	3.0	2.0	1.8	2.0	1.7
	COD(mg/L)	10以下	9.1	8.7	7.9	7.5	7.6	7.3	-	9.9	9.9	8.4	8.4	8.1	8.1
	SS(mg/L)	3以下	2.3	2.0	1.4	<1.0	<1.0	1.0	40以下	2.6	2.7	2.4	1.4	1.5	1.5
	T-N(mg/L)	3以下	1.8	1.5	1.3	1.4	1.6	2.2	-	1.9	1.5	1.4	1.6	1.7	2.4
	T-P(mg/L)	2以下	0.6	1.0	1.0	0.9	0.9	1.4	-	0.8	1.2	1.1	1.0	0.9	1.4
大和JC	BOD(mg/L)	4以下	2.3	2.0	1.7	1.4	2.3	1.4	13以下	2.8	2.6	2.6	1.8	3.2	1.7
	COD(mg/L)	12以下	9.7	9.2	8.6	8.1	8.6	8.0	-	11.6	10.4	9.0	8.6	9.1	8.5
	SS(mg/L)	5以下	2.8	1.9	1.4	<1.0	1.5	1.2	40以下	5.5	3.1	2.0	1.5	2.9	1.6
	T-N(mg/L)	14以下	9.1	10.3	9.3	9.4	10.4	10.7	-	10.4	10.6	9.4	9.4	11.3	11.0
	T-P(mg/L)	3以下	1.4	1.3	0.9	1.6	0.7	1.4	-	1.5	2.0	1.1	2.3	0.8	1.5

※ 法定基準は「常に満足」しなければならず、県基準は「平均」を満足することが判定基準（要求水準書 別紙3-5-2）

二軸管理手法による分析

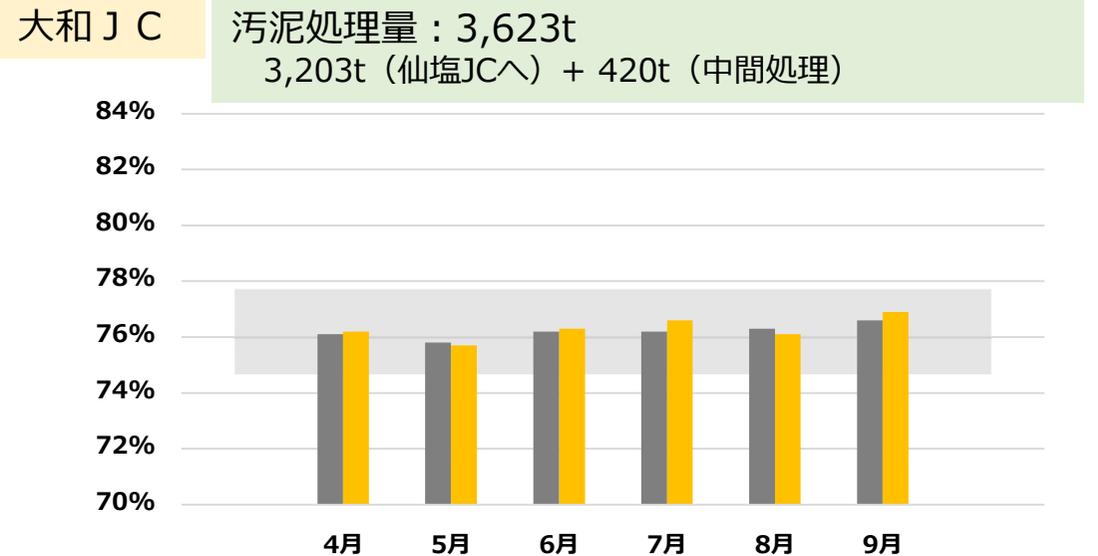
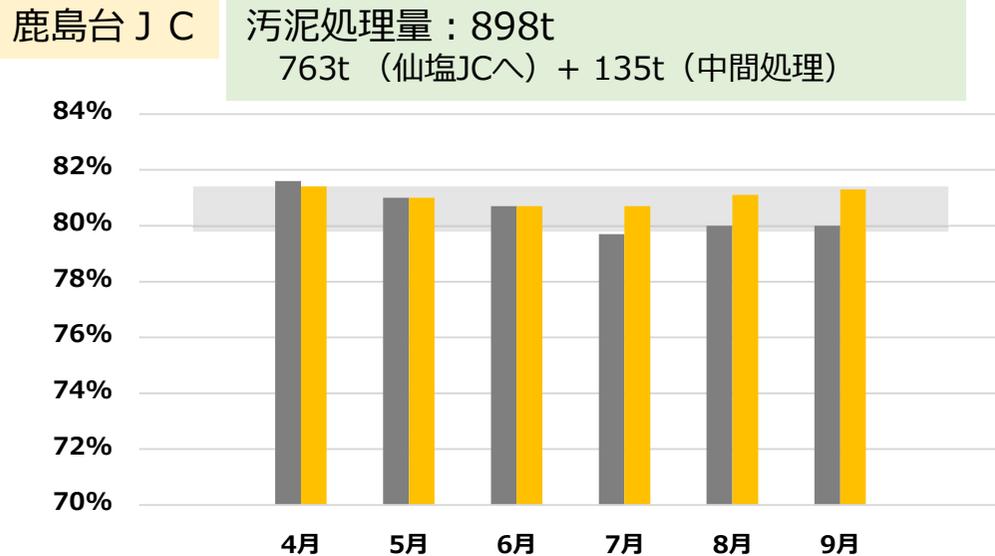
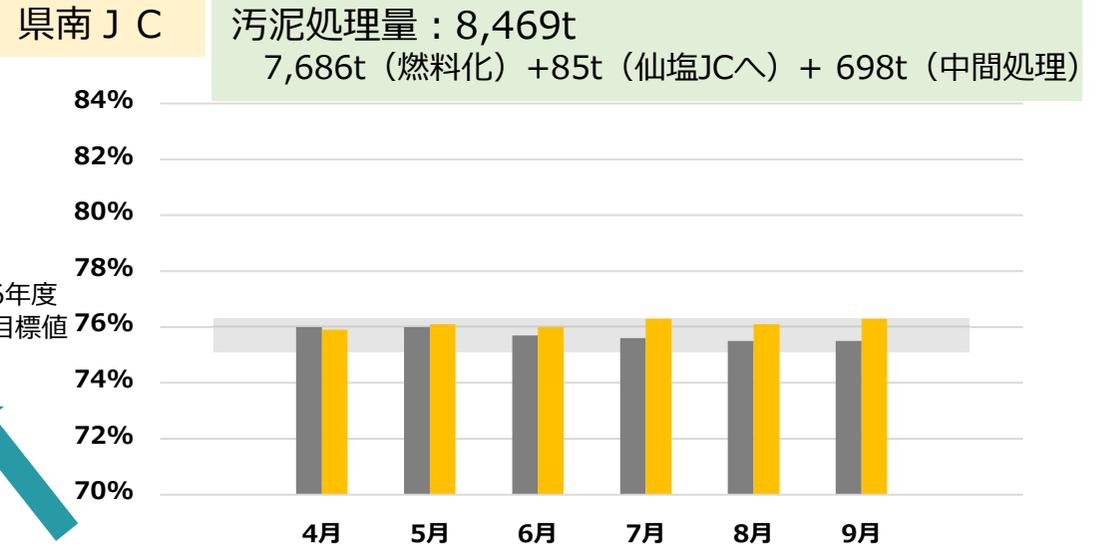
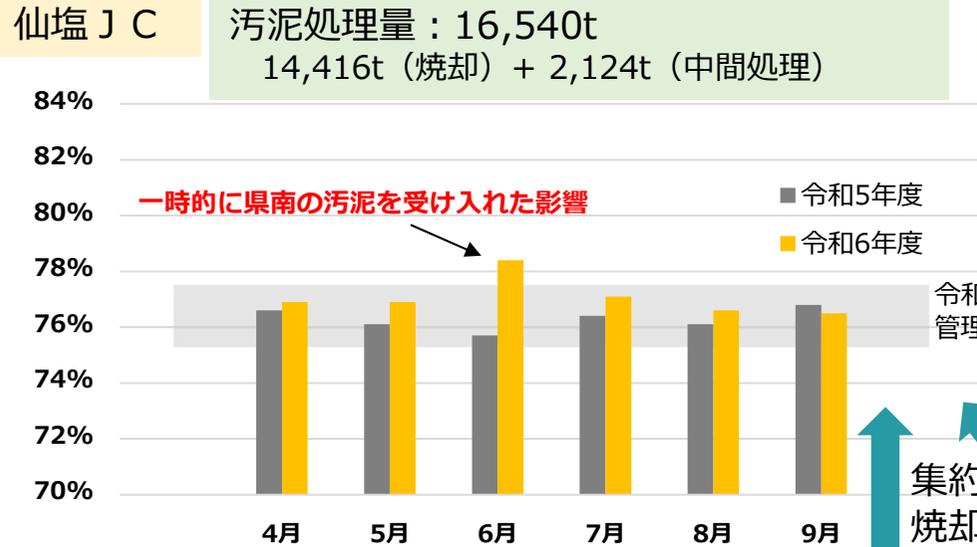
基本方針) **放流水質を維持しつつ、送風機電力原単位を削減する**

- ・ 仙塩浄化センター（標準活性汚泥法+A2O法）
反応槽の風量調整により、送風機電力原単位を10%程度削減
- ・ 県南浄化センター（標準活性汚泥法）
消化槽の改築工事が、水処理運転管理に影響し、風量低減できず
今年度工事完了、来年度は風量調整にチャレンジ



1. 維持管理業務（報告） ① 運転管理・水質管理（下水）

下水 上半期の汚泥処理（含水率他）



- ・ 管理目標値を令和6年4月に改訂（管理目標値はより効率的な運転を目指し、県と協議の上適宜見直し）
- ・ 産廃として搬出した汚泥は、搬出先にて全てリサイクル

1. 維持管理業務（報告） ②主なトラブルと対応

要求水準違反となる可能性があったトラブル

4/10 麓山浄水場（大崎水道）

南郷受水流量調整弁操作の問題により、**過大流量が発生した**
（原因：ヒューマンエラー）

事後適切に対応
水質異常なし

5/8 南部山浄水場（仙南・仙塩水道）

故障警報への適切な対応をせずに逆洗をしたため、**ろ過池への逆流が発生した**
（原因：機器故障波及範囲の理解不足）

9/29 南部山浄水場（仙南・仙塩水道）

事象) 塩素注入器から塩素漏洩が発生（突発故障）したため、浄水処理を停止
漏洩の対処は適切に行われたものの、ろ過池の停止手順に問題があったため、
送水再開に遅れが生じ、通常の送水量に戻るまで約半日を要した
（大口の送水先である仙台市へ送水量減に協力いただいた）

対応) 塩素漏洩の対処は訓練も実施していたことで、適切に対応できたが、
「ろ過池の緊急停止」に対する備えが不足していた
塩素漏洩時等の浄水処理運用マニュアルを見直すワークショップ（10/15）
→ 文書更新だけでなく、関係者のレベルアップも図る

2. 改築業務（報告）

計画との差異)

改築計画に基づき工事は概ね順調に進捗した
(工事量の増加に伴い、現場の安全確保等を図る対策を実施)

2. 改築業務（報告） ① 完工工事

上半期に工事が「5件」完工

- ・ 電子部品等の長納期化による影響は昨年度に比べ大きく改善し、概ね予定通りに完工
- ・ 上期に上工水の情報インフラ基盤の整備が完了⇒下期に下水も完了予定

事業名	工事名	完成後の写真
大崎広域水道 用水供給事業	麓山浄水場・中峰浄水場ほか計装設備更新 および現場情報インフラ整備工事	
仙塩工業用水道事業	富谷配水池電気設備更新及び大梶浄水場 ほか現場情報インフラ整備工事	
仙塩工業用水道事業	大梶浄水場ほかサンプリング設備更新工事	
阿武隈川下流 流域下水道事業	丸森ポンプ場電気設備等改築工事	
鳴瀬川流域 下水道事業	鹿島台浄化センター反応タンク設備改築工事	

2. 改築業務（報告） ②発注（設計・工事）

設計業務9件、工事17件発注

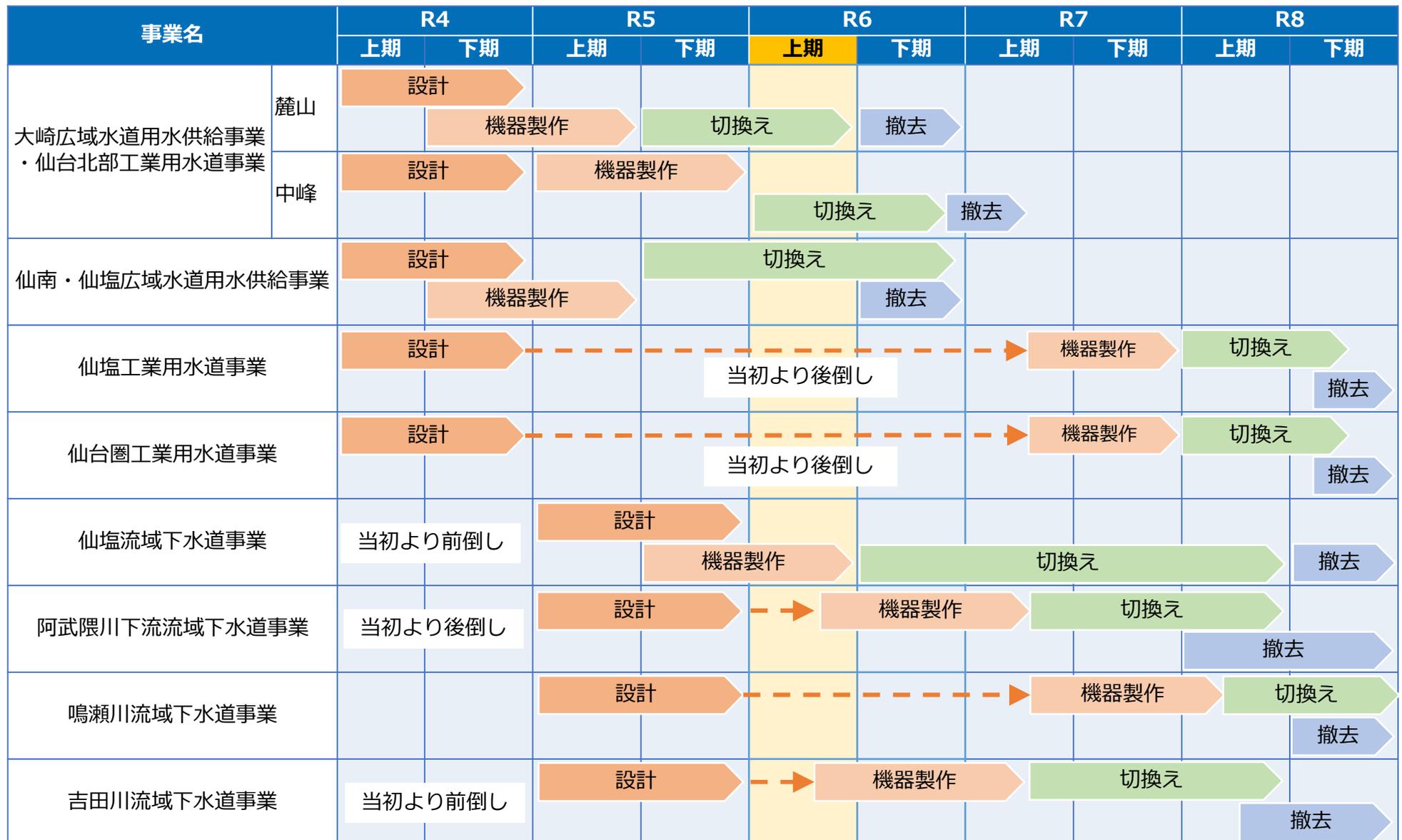
単位：千円

	事業名	設計業務	工事	
		発注金額	発注金額	主な内容
上工水	大崎広域水道用水・仙台北部工業用水	25,400	173,138	電気設備更新、次亜注入設備更新 等
	仙南・仙塩広域水道用水	33,000	822,344	沈殿池・ろ過池機械設備更新、電気設備更新 等
	仙塩工業用水・仙台圏工業用水	発注無し	19,000	電気設備更新 等
下水	仙塩流域下水道	41,300	730,429	電気設備更新、焼却設備更新 等
	阿武隈川流域下水道	6,850	822,400	機械濃縮設備更新、電気設備更新 等
	鳴瀬川流域下水道	6,200	発注無し	—
	吉田川流域下水道	発注無し	655,000	電気設備更新、重力濃縮設備更新 等
	合計	112,750	3,222,311	

流域下水道事業の工事発注の内1件が不調、見積競争に切り替えて契約済み

2. 改築業務（報告） ③統合型広域監視導入スケジュール

統合型広域監視制御システムの更新は、上水から下水へ



→既設の故障状況を考慮し、工程を変更

一部事業で**MDPへのリアルタイムデータ連携開始**

2. 改築業務（報告） ④新規取り組み

現場の情報連携・安全確保、県職員への技術継承に向けた取り組み

改築担当者（みずむすびマネジメントみやぎ）

- **工事請負業者**
工事安全連絡協議会で実施している安全対策等の取り組みを、宮城県・MSMが参加する工事連絡会で紹介
※労働安全衛生法に基づき、労働災害防止を目的として工事請負業者が設置・運営を行う協議組織
- **各機場運転・保守スタッフ（みずむすびサービスみやぎ）**
運転／保守メンバーとの月1回の意見交換会を全事業で発足

現場の最新情報をもとに適切なアセットマネジメントを実施し改築計画に反映することで施設全体の機能向上を図る



MSM・MMM工事連絡会
（今年度新設）の様子

改築担当者・設計請負業者

- **宮城県各事務所**
宮城県事務所の若手技術者への技術継承の一環として、設計協議に参画いただく機会を提供

3. 経営管理業務（報告）

計画との差異)

売上高の進捗は概ね計画通り

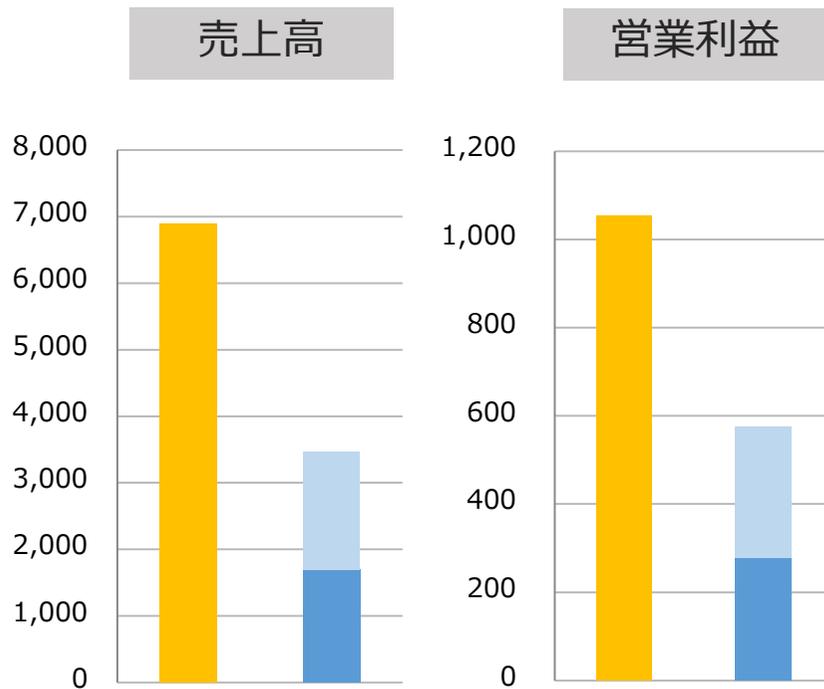
利益はやや上振れ

営業利益：年間計画の55%に到達

【要因】

- ・ 運営権収受額の臨時改定による売上の増加
- ・ 水量の計画比増加等による売上の増加

単位：百万円



単位：百万円

■ 年間計画 ■ 第1四半期 ■ 第2四半期

財務数値 (損益計算書系)	年間 計画①	上半期 実績②	②/①	前年同期 実績③	②-③
売上高	6,890	3,471	50%	3,642	-171
売上総利益	1,319	696	53%	727	-31
(売上高総利益率)	19.1%	20.1%	—	20.0%	—
営業利益	1,055	576	55%	614	-38
(売上高営業利益率)	15.3%	16.6%	—	16.9%	—
経常利益	933	520	56%	562	-42
(売上高経常利益率)	13.5%	15.0%	—	15.4%	—
当期純利益	646	360	56%	385	-25
(売上高純利益率)	9.4%	10.4%	—	10.6%	—

年間の着地は概ね計画通りの見込み

3. 経営管理業務（報告） ①財務報告（法人）

単位：百万円

財務数値（貸借対照表系）	前年期末①	第1四半期末	第2四半期末②	②-①
現預金残高（28億円以上）	6,272	6,355	6,553	281
純資産合計	3,832	5,227	5,361	1,529
有利子負債残高	7,587	7,500	7,500	▲87
負債合計	10,804	8,210	8,321	▲2,483
総資産合計	14,637	13,437	13,683	▲954

単位：百万円

財務指標	前年期末	第1四半期末	第2四半期末
流動比率	301%	1260%	1065%
DSCR（ $\geq \times 1.3$ ）	18.5	6.0	5.8
有利子負債比率（ $\leq 200\%$ ）※	118%	95%	93%

※株主融資である劣後ローンを資本とした場合

増資について

※経営審査委員会の審議を踏まえ追記

- ・改築需要に合わせて段階的に増資
- ・令和6年4月分で計画上の増資を完了

単位：千円

増資実施時期	増資額	資本金等
令和3年5月 (設立時)	—	800,800
令和4年4月	1,218,000	2,018,800
令和5年4月	1,171,200	3,190,000
令和6年4月	1,168,000	4,358,000

※増資による出資比率の変動は無し 20

3. 経営管理業務（報告） ①財務報告（予実比較：上水）



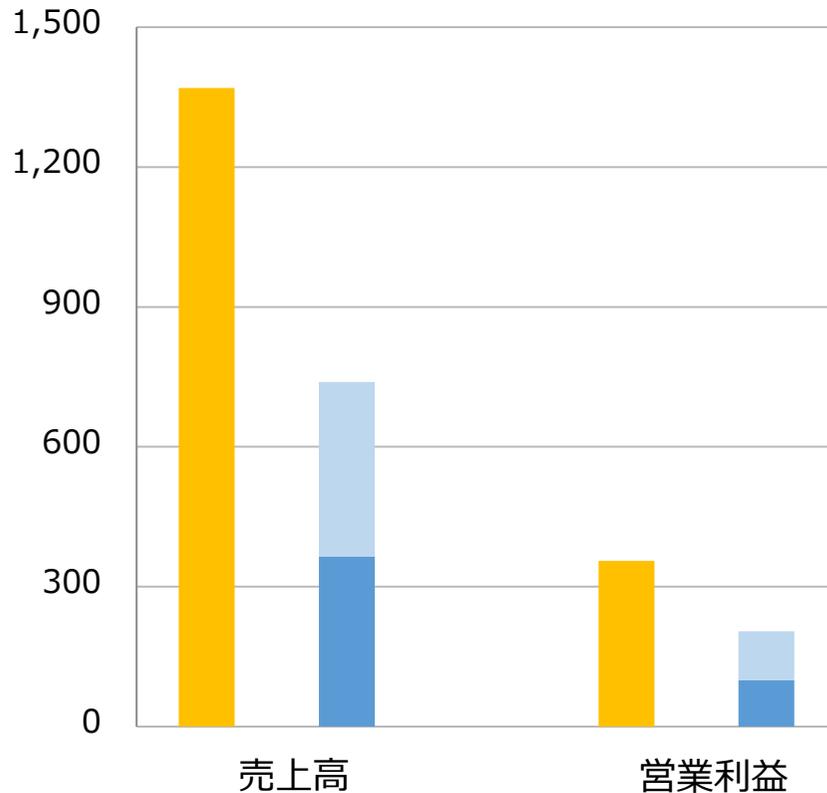
上水

供給量増加に伴いやや計画を上回る

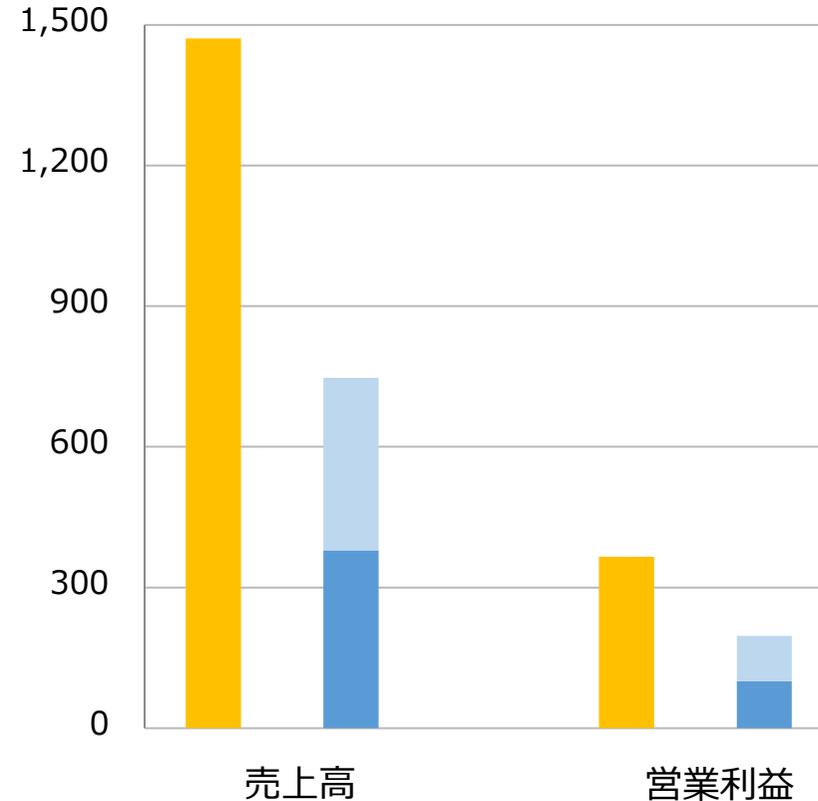
単位：百万円

■ 年間計画 ■ 第1四半期 ■ 第2四半期

大崎広域水道



仙南・仙塩広域水道



項目	年間計画①	上半期実績②	②/①	前年同期実績③	②-③
売上高	1,370	739	53.9%	720	19
営業利益	355	204	57.5%	218	▲14

項目	年間計画①	上半期実績②	②/①	前年同期実績③	②-③
売上高	1,471	747	50.8%	734	13
営業利益	366	197	53.8%	212	▲15

3. 経営管理業務（報告） ①財務報告（予実比較：工水）

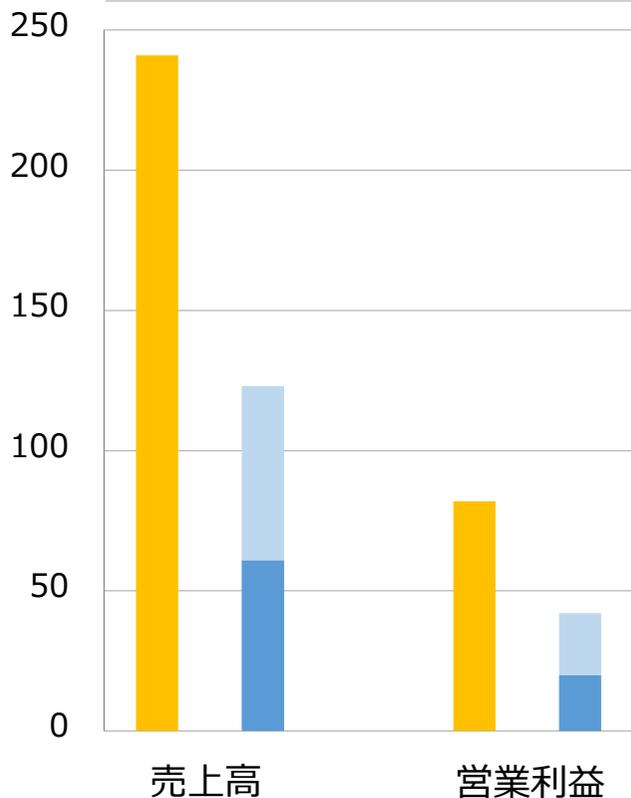
工水

おおむね計画通りの進捗

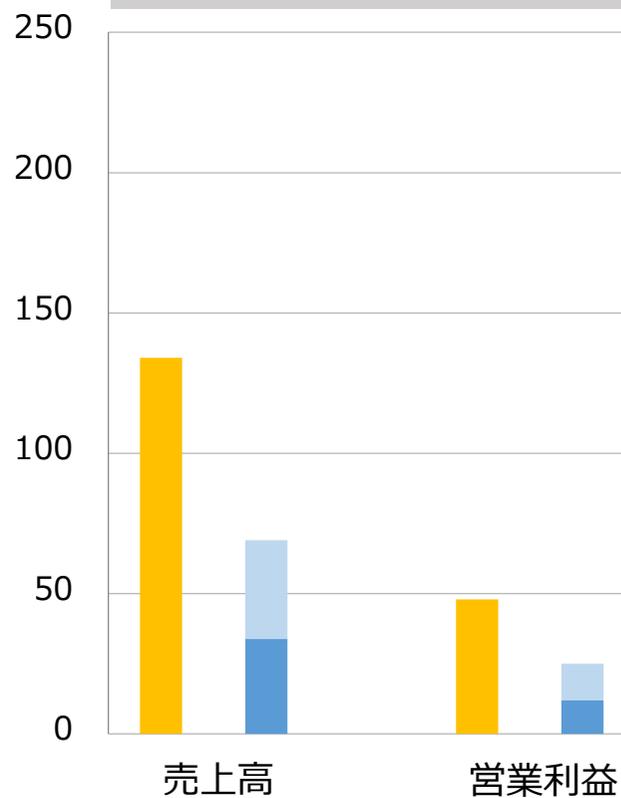
単位：百万円

■ 年間計画 ■ 第1四半期 ■ 第2四半期

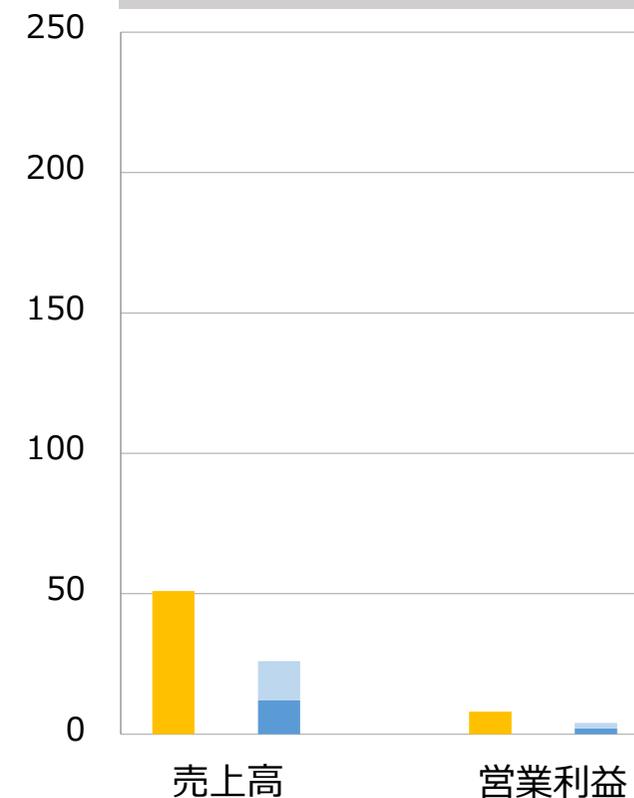
仙塩工業用水道



仙台圏工業用水道



仙台北部工業用水道



項目	年間計画①	上半期実績②	②/①	前年同期実績③	②-③	項目	年間計画①	上半期実績②	②/①	前年同期実績③	②-③	項目	年間計画①	上半期実績②	②/①	前年同期実績③	②-③
売上高	241	123	51.0%	124	▲1	売上高	134	69	51.5%	70	▲1	売上高	51	26	51.0%	25	1
営業利益	82	42	51.2%	46	▲4	営業利益	48	25	52.1%	24	1	営業利益	8	4	50.0%	5	▲1

3. 経営管理業務（報告） ①財務報告（予実比較：下水）

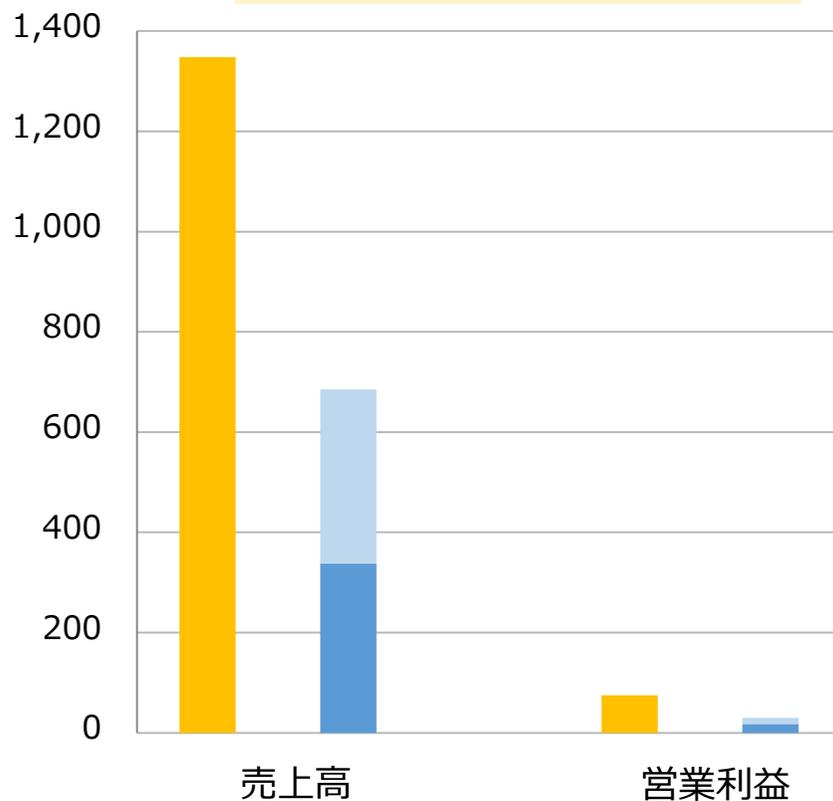
下水

おおむね計画通りの進捗

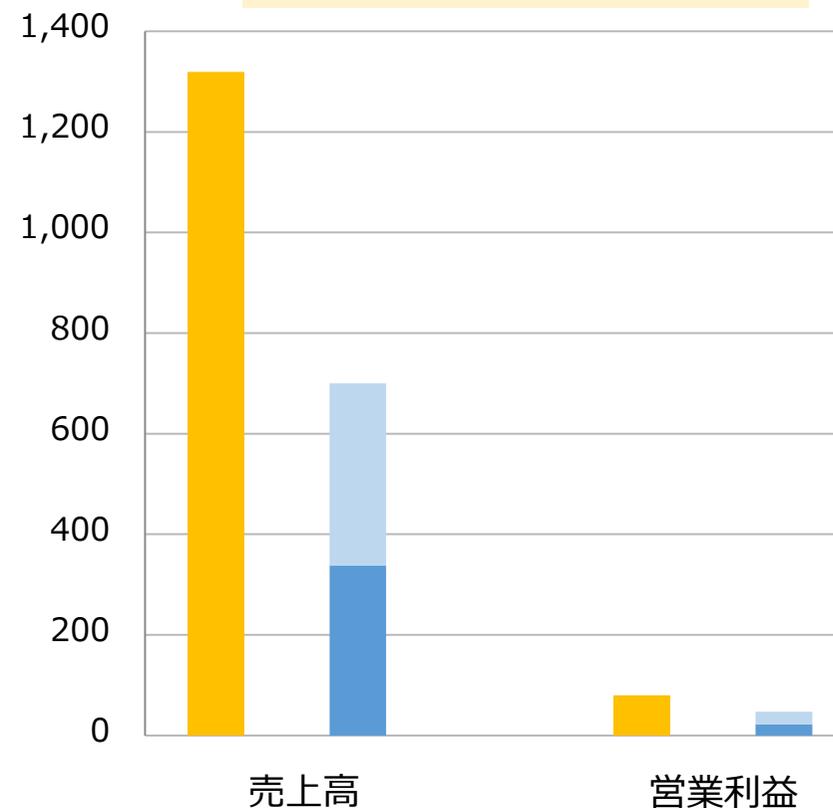
単位：百万円

■ 年間計画 ■ 第1四半期 ■ 第2四半期

仙塩流域下水道



阿武隈川下流流域下水道



項目	年間計画①	上半期実績②	②/①	前年同期実績③	②-③
売上高	1,348	685	50.8%	757	▲72
営業利益	75	30	40.0%	48	▲18

項目	年間計画①	上半期実績②	②/①	前年同期実績③	②-③
売上高	1,319	700	53.1%	787	▲87
営業利益	80	47	58.8%	24	23

昨年比：物価上昇の沈静化（主に電力費）により、臨時改定幅が狭まり売上高が減少

3. 経営管理業務（報告） ①財務報告（予実比較：下水）

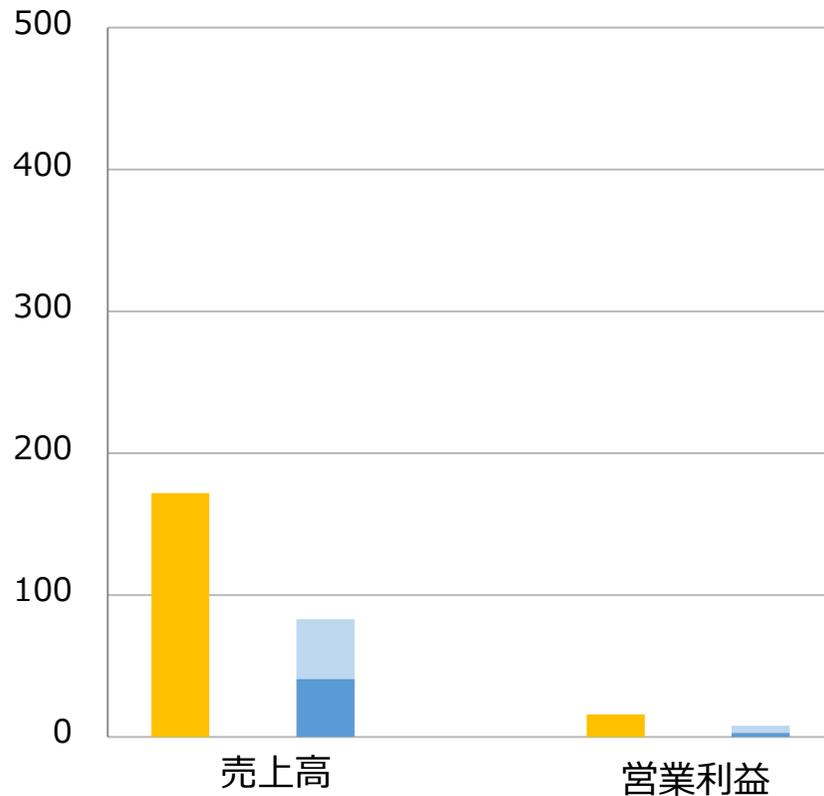
下水

おおむね計画通りの進捗

単位：百万円

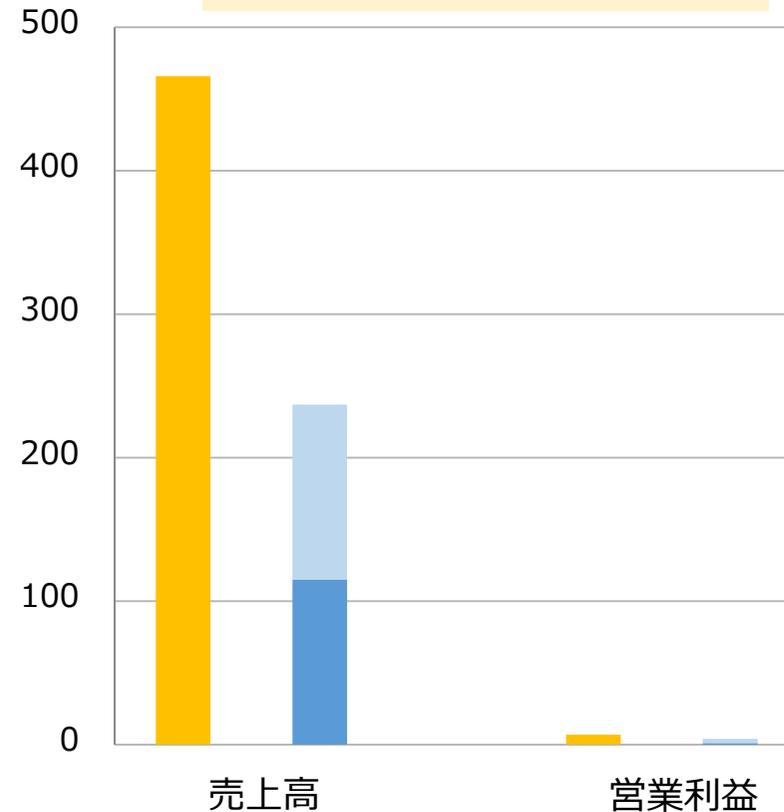
■ 年間計画 ■ 第1四半期 ■ 第2四半期

鳴瀬川流域下水道



項目	年間計画①	上半期実績②	②/①	前年同期実績③	②-③
売上高	172	83	48.3%	91	▲8
営業利益	16	8	50.0%	11	▲3

吉田川流域下水道



項目	年間計画①	上半期実績②	②/①	前年同期実績③	②-③
売上高	466	237	50.9%	257	▲20
営業利益	7	4	57.1%	11	▲7

株式会社みずむすびサービスみやぎの財務数値

損益計算書系

単位：百万円

項目	第1四半期	第2四半期	上半期累計①	前年 上半期累計②	①-②
売上高	1,256	1,297	2,553	2,768	▲ 215
売上総利益	1	▲ 16	▲ 15	75	▲ 90
営業利益	▲ 40	▲ 58	▲ 98	▲ 15	▲ 83
(売上高営業利益率)	-3.2%	-4.4%	-7.7%	-1.3%	-6.4%
経常利益	▲ 40	▲ 56	▲ 96	▲ 13	▲ 83
税金等調整前純利益	▲ 40	▲ 56	▲ 96	▲ 13	▲ 83
純損益	▲ 40	▲ 56	▲ 96	▲ 14	▲ 82

貸借対照表系

単位：百万円

項目	前年度末①	第1四半期末	第2四半期末②	②-①
現預金残高	531	192	461	▲ 70
純資産合計	342	301	245	▲ 97
有利子負債残高	0	0	0	0
負債合計	1,080	751	925	▲ 165
総資産合計	1,422	1,052	1,170	▲ 252

動力費の高止まり、薬品費の増加が利益を圧迫

3. 経営管理業務（報告） ②研修・教育

県や地元企業も招いた講習会・技術教育を実施



ヒューマンエラー対策研修

昨年度実施したヒューマンエラー対策研修を今年度も実施
(4/20、5/11)

対象

昨年：幹部層⇒今年：中堅層
(県職員の方にも参加いただいた)



ヒューマンエラー対策研修

講習会・技術教育

計装設備に関する教育（4月）
ポンプ軸封部分解整備に関する教育（5月）
自動含水率測定装置に関する教育（5月）
振動測定に関する教育（5月）

保守点検等の内製化の技術力向上に寄与



計装設備に関する教育



ポンプ軸封部分解整備に関する教育

3. 経営管理業務（報告） ③広報活動（イベント等）

みずむすびフェス（下水道まつり）

9/14 in 仙塩浄化センター 参加者：約1,200人（関係者含む）

9/28 in 県南浄化センター 参加者：約1,000人（関係者含む）



会場風景（みずフェスin県南）

水の教育プログラム

自由研究バスツアー

7/31 @南川ダム・中峰浄水場・大和浄化センター

⇒初開催

参加者：50人（小学生を対象に保護者含む）

⇒去年の22人から大幅増



場内見学ツアー（みずフェスin仙塩）

みやぎ教育応援団マッチング会議

6/26 @宮城県庁 7/12 @大崎合同庁舎

学校及び市町村教育行政関係者に対し当社が実施している施設
見学、出前授業、自由研究バスツアー等について紹介



バスツアー（微生物観察）



みやぎ教育応援団

3. 経営管理業務（報告） ③広報活動（その他広報）

その他広報・ボランティア活動等

広報誌

『水結便（みずむすびん）』Vol.5（6月刊行）
「みずむすびのDX、第2料金期間の方針・施策」を特集



広報誌 Vol.5

下水道の日パネル展（9/9～9/13 @宮城県庁）
宮城県の広報活動への協力として実施



9/9～9/13 下水道の日パネル展

メディア掲載

7/10 日本下水道新聞、7/11日本水道新聞、
8/24河北新報 等での取り上げ
※内閣府PPP/PFI優良表彰、任意事業(マイクロ水力発電)が注目

清掃ボランティア活動

施設近隣及び多賀城みずむすび公園にて清掃を実施（計10回）



9/7 清掃ボランティア

見学者受け入れ状況

単位：人

	事業名	昨年 同期①	上半期 ②	②-①
上水	大崎広域水道用水供給事業	669	657	-12
	仙南・仙塩広域水道用水供給事業	337	408	+71
工水	仙塩工業用水道事業	100	61	-39
	仙台圏工業用水道事業	0	0	±0
	仙台北部工業用水道事業	5	0	-5
下水	仙塩流域下水道事業	122	51	-71
	阿武隈川下流流域下水道事業	157	94	-63
	鳴瀬川流域下水道事業	8	7	-1
	吉田川流域下水道事業	22	68	+46
	合計	1420	1346	-74



全希望者受け入れ・例年並みの受け入れ数

工事車両の騒音に関する苦情が1件、対応を実施

【騒音】 @仙塩浄化センター

受付日) 9/25 (水)

内容) 地域住民より工事騒音についての苦情
任意事業である太陽光発電の設置工事に起因

対応) 工事中は防音ネットを設置し、騒音対策を実施
16:30には作業終了し、重機は17:00までに駐機場へ停車
するよう指示
※現在ほぼ騒音の出る工事は終了している

4. 課題認識と下半期見通し

4. 課題認識と下半期見通し（法人）

課題認識	下半期の見通し
① 電力費の高止まり	<ul style="list-style-type: none"> 4月から電力（特高・高圧）調達先を変更した 12月以降は政府の支援も予定されていない 引き続き、維持管理業務全体で、業務の合理化・効率化を図り事業全体としてカバーしていく【継続課題】
② 電子部品等の長納期化影響による改築工事の工程遅延	<ul style="list-style-type: none"> 工事に長納期品が含まれる場合には、余裕を持った工期設定を行い、不測の工期延長を未然に防ぐ【継続課題】
③ 中央監視設備のベンダーロックイン	<ul style="list-style-type: none"> 不具合発生時には、関係企業と情報の共有を適宜行い、早期解消を図る【継続課題】
④ 小水力発電事業の運用・施工	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き施工計画書、運転管理契約書の精査を実施し、水質・水量リスクの低減をはかっていく【継続課題】
⑤ ウォーターPPPにおける地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ニーズの強弱があるなかで、特に要望の強い市町との連携において、導入効果の最大化を目指して具体的な検討を実施している【継続課題】
⑥ 関係市町村等との「水質事故を想定した訓練」	<ul style="list-style-type: none"> 関係者との企画内容の協議を開始して検討を進める【継続課題】

4. 課題認識と下半期見通し（上水）

課題認識	下半期の見通し
① 中峰浄水場の原水起因の沈殿池TOC管理目標値超過	<ul style="list-style-type: none"> • ジャーテスト等による検証を適宜実施し、活性炭を適切に注入することで安定的な水質管理が実施できている【継続課題】
② 麓山浄水場での更新工事作業時間確保	<ul style="list-style-type: none"> • 水運用シミュレーションを実施し、一定の作業時間を確保した • 完工まで適宜関係者と情報共有を図り、不測の水量不足等の発生を防ぐ【継続課題】
③ 南部山浄水場の原水水質影響	<ul style="list-style-type: none"> • PAC増量による対応で消毒副生成物を抑制できている • E260を有機物の指標とする管理で、末端受水点での消毒副生成物の数値も安定していた【完了】
④ 南部山の浄水池天井漏水による1池使用停止	<ul style="list-style-type: none"> • 県と協議をし、来年度以降に県が浄水池の抜本的な防水工事を実施することで調整中である【継続課題】
⑤ 南部山浄水場の工事に伴う供給可能水量減少	<ul style="list-style-type: none"> • 残り3つの沈殿池での運転は実績もあるので、運転管理に支障はない • 一方で、受水市町との送水流量調整に関して、通常時よりは柔軟性が低下するため、予め市町と情報共有し送水への影響を最小化するように努める【継続課題】

4. 課題認識と下半期見通し（工水）

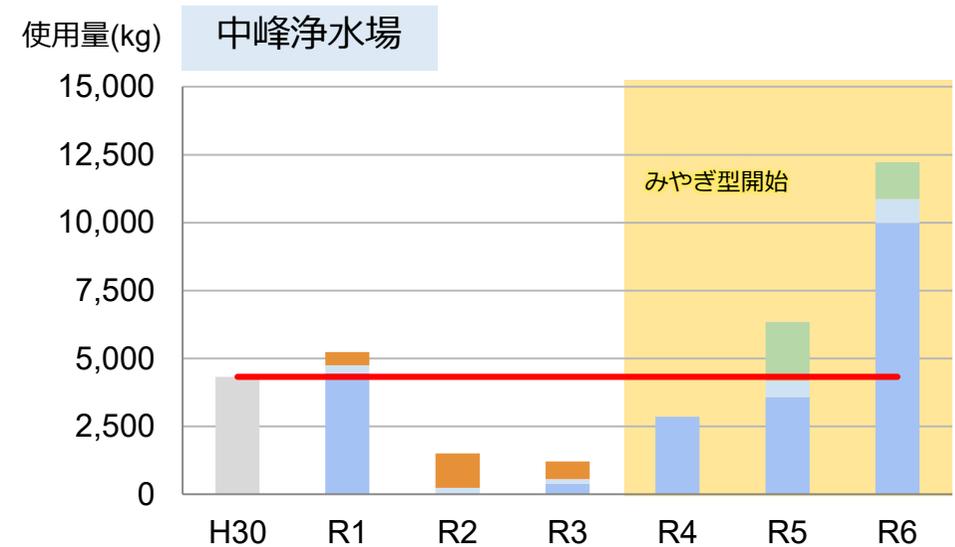
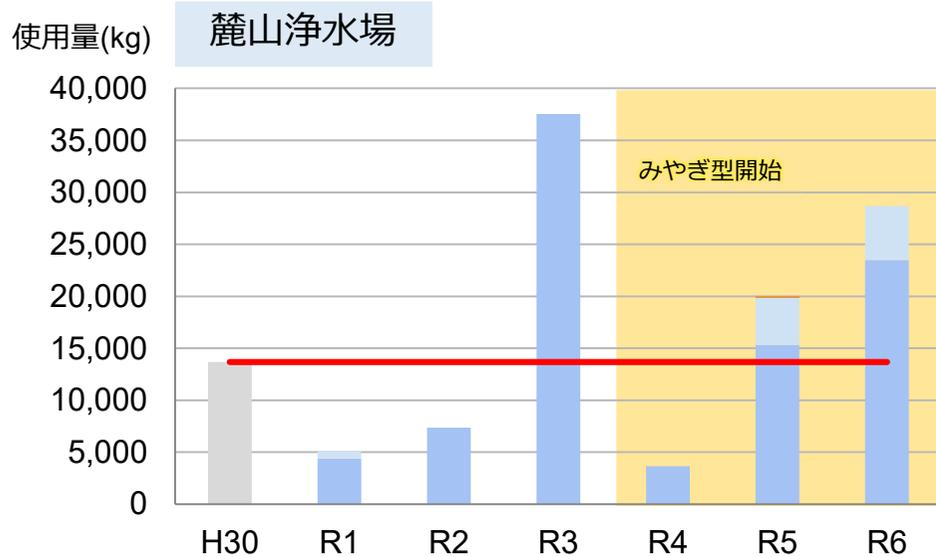
課題認識	下半期の見通し
<p>① 仙塩工業用水ユーザーの流量記録計に関する消耗品費用の負担所掌</p>	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー企業に過度な負担とならないよう善後策を県と協議中である【継続課題】
<p>② 郷六取水口の取水口監視カメラ付近の当社管理範囲外の樹木</p>	<ul style="list-style-type: none"> 状況写真を提出し、県より河川管理者へ当該樹木の伐採を依頼中である【継続課題】
<p>③ 熊野堂取水場の水利権水量遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> 流量計不具合箇所を特定して、修理が可能であれば実施し、早期復旧を図る【継続課題】
<p>④ 来年度計画の仙台圏工水ユーザー企業の給水量増加</p>	<ul style="list-style-type: none"> 送水ポンプの設定変更や、配水池水位を高め維持する運用を検討する 油流入等の緊急時のユーザー企業との情報共有についても見直しを検討する【継続課題】
<p>⑤ 仙台北部工水ユーザー企業の膜ろ過処理装置の膜閉塞に伴う情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当該ユーザー企業へ、月1回の水質検査結果（濁度、色度、TOC、藻類数等）の提供を実施している あわせて年1回冬季に濁度低減処理施設の清掃を実施しているが、清掃時期等の見直しを検討する【継続課題】

4. 課題認識と下半期見通し（下水）

課題認識	下半期の見通し
① 大和浄化センターの中央監視装置の関連の故障の頻発	<ul style="list-style-type: none"> 予備品の確保を行っている 改築時期を当初計画から9か月早め、R7年4月から切替工事を実施する予定である【継続課題】
② 仙塩浄化センターの中央監視装置更新の早期実施	<ul style="list-style-type: none"> 切替工事開始を当初計画から9か月早め、令和6年11月から実施している【継続課題】
③ 仙塩浄化センターの2系水処理の設備故障による自動制御不可	<ul style="list-style-type: none"> 関係企業の協力のもと、設備の修理を実施し、出水期を前に2系水処理の運用を再開した【完了】
④ 県南浄化センターの水処理施設が地盤沈下	<ul style="list-style-type: none"> 専門業者による水処理への影響調査を年度内に実施する予定である。【継続課題】
⑤ 電気室に空調機がないことによるインバーター等の停止	<ul style="list-style-type: none"> 空調機にかかる費用等を確認中である。県南浄化センターは改築工事にて空調機の設置を完了した【継続課題】

4. 課題認識と下半期見通し（その他）

大崎広域水道の2浄水場（麓山・中峰）でも活性炭使用量が増加傾向



■ かび臭(ダムため池由来)
 ■ かび臭(河川由来)
 ■ 有機物(色度・TOC)
 ■ 油流入・異常水流入
 ■ 試運転等

注1 赤色ラインは県シミュレーション量（2018年度活性炭使用量をベース）

注2 活性炭使用量は、2018年度は水道事業年報の値、2019年度～2024年度は月報帳票の値です。水道事業年報と月報帳票の値は概ね一致しています。

使用目的) かび臭除去（麓山・中峰）、色度対策等の有機物除去（中峰）

原因) 高温、少雨渇水、集中豪雨等の気象状況の変化

今後) 赤ライン超えが継続する場合は、**昨年度南部山事象と同様に突発事象に該当可能性あり**